
トラック・バス用タイヤ新基盤技術 *e-balance* の確立

東洋ゴム工業株式会社(社長:片岡善雄)は、これまでに蓄積したタイヤづくりのノウハウを結集して新たなバランス性能を生み出すトラック・バス用タイヤの新基盤技術「*e-balance* (イーバランス)」を確立しました。このテクノロジーは「耐摩耗性」・「耐偏摩耗性」・「燃費性」・「耐久力」といったタイヤにとっての重要な基本性能を大幅に向上させ、近年の扁平化にも対応した新基盤技術です。

この新基盤技術は、「経済性(Economy)」・「低燃費(Energy)」・「耐久力(Endurance)」・「環境(Ecology)」といった4つのE効果(メリット)がバランス良く向上することから、「*e-balance* (イーバランス)」というネーミングを採用しました。

トラック&バス用タイヤは、一般的に高内圧、高荷重で長時間使用されるため、ベルト部やビード部といったタイヤ内部歪みが大きなところでは、寸法、形状変化しやすくなります。「*e-balance* (イーバランス)」では、「タイヤ形状安定テクノロジー」・「高剛性ビードテクノロジー」・「最適化シミュレーションテクノロジー」の3つの新テクノロジーを駆使して、タイヤ内部歪みを低減させ、新品時から使用末期に至るまでの経時変化を抑えることにより、諸性能の大幅な底上げを可能としました。

今後、東洋ゴム工業は、この新基盤技術「*e-balance* (イーバランス)」を駆使し、21世紀のトラック・バス用タイヤの開発に活かしていきます。



<タイヤサイド部刻印>

e-balance がもたらす、4つのE効果

- ① 「**経済性(Economy)**」 : タイヤ管理コストの低減。
耐摩耗性・偏摩耗性が大幅に向上する為、ロングライフ化・低メンテナンス化を実現します。
- ② 「**低燃費(Energy)**」 : 燃料コストの削減。
転がり抵抗が低減できる為、低燃費化を可能にします。
- ③ 「**耐久力(Endurance)**」 : タイヤ長寿命化や更新性に対応。
基本耐久力が大幅底上げになると同時に、経年劣化を抑制します。
- ④ 「**環境(Ecology)**」 : 地球環境への負荷を低減。
耐摩耗性・耐偏摩耗性・燃費性・耐久力が大幅に向上する為、省資源化・CO₂ 排出削減に貢献します。

e-balance を構成する、3つのニューテクノロジー

- ① **タイヤ形状安定テクノロジー**
高剛性新ベルトパッケージ採用により、新品時から使用末期に至るまでのタイヤの形状保持性と接地性が大幅に安定するため、耐偏摩耗性とベルト耐久性が向上します。
- ② **高剛性新ビードテクノロジー**
高剛性新ビード構造採用により、新品時から使用末期に至るまでのビード部の変形と歪みが低減され、ビード耐久力が向上します。
- ③ **最適化シミュレーションテクノロジー「T-mode(ティーモード)」**
従来のトラック&バスタイヤ設計基盤技術であった「DSOC-II」を進化させ、新品時だけでなくタイヤ使用過程を想定した「タイヤ形状変化・偏摩耗性・トラック&バス車両挙動・ノイズ性」といった4つの事前予測が可能となり、高精度にタイヤを最適化設計できる次世代シミュレーション技術です。

以上